



発行所 西蒲原郡 卷町公民館  
編集人 保刈郡司  
印刷所 昭和時報社

### 中学校のあるべき姿

町立巻中学校

田 中 安 定

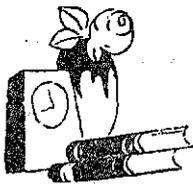
中学校は小学校と共に国民の大半を社会人として育成する義務教育最終の学校であります。

そして中学校の特殊性は青年前期を経験しつつある生徒でありますから、中学校のあるべき姿として考えなければならぬ

ことは、生徒の自発的な学習活動を基本にして、その活動に対して教育的な環境をつくつてやる必要であると思えます  
その爲には家庭も地域社会も学校と共に一つになつて次の事柄について御協力を戴きたいのであります。

1. 学校と家庭は生徒の発達を指導するために協力して仕事を  
する、従つて学校の職員は生徒の家庭的環境を理解し、両親はその生徒の学校の環境を理解する。  
2. 学校の價値を強調して、生徒の欠席率減少し、完全出席を奨励する。

- 3. 個々の生徒の問題を取扱ふために、生徒職員間は勿論生徒両親間の協力を實現する。
  - 4. 地域社会の悪感情を引起さず且自発的協力によつて地域社会のもつ種々の材料を学校が教科課程に活用し得るようにする。
  - 5. 地域社会の諸計画に生徒の參與を可能ならしめよ。
- 何しろ中学校は全くの白紙から出発し、いる関係上、施設の面に至つては申述べる迄もなく不完全なので、生徒指導上種々の困難がありますので、施設の面に対しても一層の御協力を念願してやまないものであります。



### 町會だより

六月六日 午後二時  
町議會 緊急土木委員会  
召集のため 割前 現地入口  
破損した農家の協力を得て  
工事を実施するに難を免れた  
工事を入口樋管の箇所を視察  
し、損傷を調査し、炭ガラを  
通牛場の裏道へ炭ガラを通す  
通路を便にする事に決めた。  
六月二十日 町議會協議会  
六月二十日 出席十七名  
六月二十日 欠席八名  
町立巻中学校屋内運動場の  
建設の結果、地方税法の確定す  
るまで保留とすること。



写真説明 撮影者 永松氏  
新築なつた巻町保育所の全景

- 二、同校グラウンドの整備につ
- いて石炭ガラを相当量敷か
- ばならぬが、差当つて二車
- 三、信用協同組合等支部の設
- 置に力をするが、これに對し
- 四、警察消防委員会より会議
- が委員より会議模様を報告

### 町議會六月定例会

六月廿四日 町議會六月定例会  
出席議員 二十名  
欠席議員 五名  
一、卷上水道使用條例の設定に  
七月一日から水道料の全般的  
値上げを決定するに對し、  
二、露店管理條例改正條例  
の制定に對し、  
三、国民健康保険條例改正條  
例の制定に對し、  
四、第一條第五号は地方税  
の免除を受けるものとあつた  
もの及びその世帯にある  
生活保護法による保護を受け  
るものと改められた。  
五、専決処分報告承認を求める  
件、  
六、参議院議員選挙費用が縣から  
支給されたので、その報告承  
認を求めた。  
七、出納臨時検査立会議員の互  
選に對し、  
八、野村三氏を当選者と定めた  
国民健康保険運営協議会の  
提案事項及之に對する意見の  
出があつた。

### 役場だより



(給食の一時)

### 参議院議員の選挙を終つて

六月四日参議院議員の通常選挙もすんで、新しい選挙法による種々な宣傳等により、顧りみて正に大風一過の感があります。時に農家の生活を決する重要な田植の最盛期の爲、棄権防止対策に窮したれども如何にせん農家が投票に對する自覚に燃ゆれども時間的制約の爲如何ともしがたく、遂に涙をのむ結果となつた。  
巻町有権者総数は六〇一二人  
内訳男二七〇一人女三三一一人  
投票総数三七四三人  
投票内訳男 〇四〇人  
女一七〇三人  
投票率六二・三%  
其の内無効投票の二三四票は遺憾であつた。特に女子に於ける五一・四%に於ては誠に残念であり、未だに女子の選挙に對する無関心さを如実に暴露してゐます。

本縣の投票率は七五%でありそれより一、三一%を下廻る不振率で、今後の選挙に對しては関心を望み、特に婦 各位の「あなた」委せの主義を捨てて一日も早く明朗で公正な理想選挙がこの巻町にくる日を待望致してお祈りします。

おそろしい傳染病が皆さんのすきまをねらつています。巻町にもあまり香しくない傳染病が発生し、隔離病舎に入つてゐます。十二区一一名  
一寸した注意で病氣は防げますよく予防方法を知つて、恐しい傳染病を追い出しましやう。其の爲に予防注射を実施したので、すが注射を受ける人が少ない。一傳染病になると本人のみでなく、大勢の人々に迷惑します。みな健康に注意しましょう。  
(国保だより)

町民運動会について

町民運動会も今年で第十二回となり、其の時期も迫つて来まして、其の問題について考へてみたいと思ひます。殊に各区分で行う慰勞会は毎年問題になつてゐるやうです。

三、結局やらざるを得ない 石川 清
二、新制中学グラウンド 三、やるべきだ
一、十一月三日 回答なし

反省

文化とは何んでしようか。武器を棄てた日本は文化国家を建設するに口では容易に云われますが、さて私達自分を振り返つて見ると、果して文化人として恥かしくない生活をしてゐるのでしょうか、ほんとうに高度な文化生活を営むのはお金もいるので、日本はまだまだ其処迄はいつて居りません。一銭もいらぬで出来る身近な事がある事、また誰にも出来る事は守られていないのを見るのはほんとうに残念です。永い冬籠りから開放されて草木も萌え出し、やがてうららかな日光と共にちらちら咲き初める西川辺の櫻が青く澄んだ空に映えて、とても美しいものです。一枝折つて花瓶へと思ふのも無理ではないでしょうが、毎年何十人かの人が一枝つづ折る事によつて、木は大きくなるどころか、枝ぶりも悪くなり美しくもなくなるでしよう。

少年の不良化

司法保護委員 眞島津太郎
最近の犯罪者の統計をみますと大人の犯罪件数に比べ少年の犯罪が著しく増加した事は皆様の新聞紙上其他御承知と思ひますが、我が町は町民各位の御協力に依り犯罪者が他町に比べて少いので喜んで居ります。然し夏は少年の犯罪が非常に起つて来つたのでこの不良化防止について色々申し上げたいので、お話を申し上げたい。夏は一人の不良少年も出ない明るい住みよい町としたいのです。
一、子供の不良化は親のおおざりから

公民館だより

第三回ものを聴く会
六月十四日夜八時より公民館講堂 日新社 森田甲子三氏 講師 河治 忠氏 司会
議題 講和問題について
質問 対日講和に対するソ連の態度 講和に対するソ連の真意 外交白書への各々の反響 全面単独講和に対する国内状態 外交白書への懸念等の活発なる質疑応答が行なわれ十時三十分散会 尚代表質問者は幸田久作氏 金子守雄氏横田ふじ氏一聴衆約百四十名

投票率

これによるとあまりに女子の棄権率の多いに呆然とした。即ち政治に対して女子があまりに関心と生活がすべて政治と直結してゐるといふことをもつともつと認識し此の後の様な事態を繰返さぬ様努力せねばならぬと思ふ。
六月廿五日
第二回郡連合婦人会総会を町田町劇場に開催した。早朝から悪天候にも関わらず出席会員約八百名といふ盛況振りであつた。規約審議、予算決算の報告承認役員改選、本年度の希望事項順序よく終了した。
会長 倉品 千代
副会長 松村 アイ
次へ改め縣教育委員会主催の婦人講座がもうけられ講師片桐児童課長の「子供のしつけに就いて」であつた。非常に有益な御講演を承り会員一同感謝いたした。その後教育映画、火山脈、銀の星、の懸断等の催しものあつて一日に楽しく且つ有意義に過ごした。
七月予定行事
料理講習、開演に於て婦人指導者講習会

友村井君の死を悼み

一人の若者が天国に召されて逝つた、それは霧の様に梅雨が煙つて居た午後だつた。若き者が老いし者より早く死んだ。それはしかし若き者たる事出来ない現実の矛盾だ。
けれど死は幸福への門出だと言ふ。君達は何故問ふのか、死の幸福それは人生の未来への再出発であるからだ。友よ安らかに眠れ、神は美しいバラの花陰から遠い銀河の中から永遠の微笑みを持つて果しない慈愛の瞳をもつて迎へてくれるであらう。
友よ安かに眠れ(小林一雄)
村井信男君は九日遠大な希望を踐して静かに昇天された。風鈴やもつと鳴れ、もつと鳴れ、信男と詠れたこの句が彼の最後の発表句であつた。
友逝きぬ句 竹野麻一
花袖落つる日輪それかただなら 紫蘇畑の匂うが如く友逝けり
遠雷や臨路の灯に沈む
これやこの想ひ果てなし春の徑 君とあるきし記憶もあらん
君一人何故召されたり天国へ 梅も櫻も笑を結ぶだに
香り匂ふ臥床の中に安らかに 眠りたるなり友の死に顔
彼村井君は常に向学の精神に燃い平和にして人に接し冷静な判断、時として獅子吼する彼の面が眼前にちらつく彼の将来が大

二千冊突破運動

科学の教室上下巻 G.S.クレイグ
民法大要 中川善之助
社会科学文庫法律の話 鶴岡信成
近代を切りひらいた人々 堀 秀彦
演劇 河竹繁俊
封建社会 豊田 武
A数の息人 玉川浩三
自然と経済 佐藤 弘
銀行のはなし 日銀調査局
家族制度 戸田貞三
原子の話 奥田 毅
13の新しい智識 野上 彰
貝塚の謎 直良信夫
人類の進歩につくした人 吉野源三郎
世界のなぞ 石原 純
発明物語と科学手工 渡辺軍治
世界名作選 山本有三
中学生の工作 松田義之
新しい日本の歴史 家永三郎
眞実を求めて、 羽仁説子
学生の東洋西洋歴史 清水書院編
魚介 林美美子
日本女性史 井上 清
世界史アルバム 京大西洋史研究室
えり子と共に 内村直也
青年の環境 野間 宏
家庭生活辞典 岩崎書店編
結 核 松田道雄
アメリカの女性 坂西志保

國保だより

昭和二十四年度
医療費支拂総額 六四三、七〇七円
被保険者数(月間) 八、七〇〇人
年平均一人当医療費 六九四円
年間受診率 一四、七〇%
年間出生総数 五、〇六名
年間死亡総数 二、〇九名
昭和二十五年四月受診件数 一、七六九件
主要病名及罹病数
1 胃腸の疾患 三三(二、六%)
2 寒 疾 二四(一、七%)
3 氣管支炎 一六(一、一%)
4 耳鼻の疾患 一五(一、一%)
5 外 傷 一四(一、〇%)
6 齒 科 一三(一、〇%)
7 結 核 一三(一、〇%)
8 人工流産 一

募集

町民の声(るばる欄)
短歌 俳句 詩
その他
いづれも原稿用紙使用のこと
宛先公民館弘報部

### 教育欄

#### 子供議会から

教諭 齋藤 信美

山の彼方に幸いありと、しかし海の彼方に幸いは無いのだから未だ還らざる父、そして同志相食む不気味な銃声、歴史の一駒は日一日々々人類の汚点を刻みつつある。

そんな事と全く無関係に日本の子供達は日増しに民主教育下の唯一たる良民としての素養を伸ばしつつある。

自由と民主主義にかこつけて道を間違えようとする問題のお祭りを、この不穏な国際情勢下に否應なしにやつてくる、お互いに金詰りに氣にして自肅していようとも稍々もすると、流れ易いのがお祭りである。お祭り気分と云うのもこんな事から言われて来たのではなからうか。そんな間に子供達は一体お祭りをどう眺めて居るであらうか。その子は平和のシンボルであり、子供は平和の魂を持つ、彼等の生活は一般社会人生活の縮図である。此処に社会の教育に於ける重要なエキスが有り、子供への怖るべき価値が存在するのである。

六月廿四日(土曜日)全校協  
議会議案

1. お祭りに学校みこしを出そう
2. お祭りに巡視班をつくる
3. お祭りに宿題を出さない様をお願いする
4. お祭りのおこずかいが学用品を、入れて一日五〇円までとする
5. お祭りの終つた後に、おこずかい調べをして掲示する
6. お祭りに十一時まで夜更しも開く。(以下略)

子供議員は各々議席を持ち、議長、副議長、書記もあり、政党的色彩は三委員から成立する処に見られる。

議案にはそれぞれ提案理由が附されて後、討議するのである。(1)の提案に曰く「私達は本當にお祭りを楽しむのは、私達がかつぎのお祭りに直接参加する事にある。しかも、それはお小遣いの節約にもなる。何故かこしかつぎに精出すか」ここで問題とされた事は、果してお小遣いの節約になるかどうか、道の難路上どうか等である。然し彼等はもつと根本を忘れていたと云うのは、みこし出の方の法計画が殆ど無いことである。だが然し彼等ににとつては大きな社会への働きかけであり、解放を叫び真かも知れない。そしてそれは彼等の大人への模倣性の表われである。

年々彼等には前進の跡があり、計画性は増れ、眞げんに物を考へて処理しようとする心構いが出来てくる様である。然しまだ猫の首の鈴に等しい様な事が多いとは云い、彼等は本當に禁止抑圧は嫌い、童心その儘に姿でありたいのである。その角大胆な彼等の計画、卒直な童心の表われ、微笑の外ない。彼等は何時も吾々に教いて居る。子供は何時も大人の縮図を直接経験したいと願つて居るのである。新教育を叫び学校は緻密な計画を討議して新鮮なお祭りのいぶきを、作つて見たらどうだらう。先年の子供、先々年の子供達に、何れも禁止抑圧をもつてお互いの行動を縛つていた様である。亦それが少くも最大の社会への貢献として見られた。吾々も亦それを願つていた様である。しかしそれは彼等にとつても余りにも重心を曲げた虚偽の行為で

あり、唯單なる教師への虚偽的迎合主義に外ならない行為と思われ。それはお祭りの時の子供の様子、親から聞く話によつてもうなづかされるであらう。それよりは兒童の問題を吾々が教育的に分析し、計画を新にして兒童と共に喰ひ込んで、その問題にとつて子供達にどうなるか、家庭も互い、親もどおり、教師も燃えて裸の姿になつたらどうなるか、どうなるか、と角兒童は自己なより良き経験の擴充を願つて居る。

家庭も学校も眞げんに子供のことについて考え、このお祭りを期にいつてもお互い救われたお祭りにし、その効果の快感を更に大きな足場とし、夏休み更に來る多くの問題を解決し、戦争なき國、微笑の町、南国の花園の如き世界に貢献し得る人間をお互いの生命の研鑽によつて培われ。

(註)但し之等の議案は最後の決定を見た由ではない。次期協議会に中等等との連絡会に決定を見る由である。

してみても下さい。從來と異なり民主主義下の今日では「あなた」委せの考を改め私達が学校と常に協議し、連絡し合つてこそ正しい教育がなされるのでは無いでしやうか。当町では中學校の屋内運動場の建設がまだなされなない現状です。私達は其の日の生活に追いついて居る子供の教育だけは大人の生きる爲の犠牲にしたくないと思ふのでございませう。親達みんなの集りが一部の独善を無くして、學校で力を合せて本當に明るい氣持で子供を學校にやれるようになり度いものです。先生だけで出来ない事でも先生と父兄の協力により其の困難もある程度克服出来るのではないでしやうか。

みんなが力を合せて眞直な丘を進む様努力したいものです。

大地(パールバック著)

石山 正市

軍閥王虎の子王淵は將軍の子でありながら、彼は父よりも祖父母に似て、將軍となるよりも農夫となりたのである。彼は軍閥継承と結婚を強制的に父に背いて、異母妹の住む大都會へ出て、そこで彼は云つて居る、それを強制的に強利が父にあるとは、中國の法律も習慣も認めては居ません。しかし僕には辛抱できない、僕には自分のからだは自分のものに、自分の生活は自分のものです。……

父の死によつて一切の束縛から解放され、自由を獲得した。しかし過激的な青年達はどうであるか。……

常に移り交つて行く社会環境に我々もその一つであるが、彼等の父祖の世界とちがつた世界に住んで居る。古いものから離れ、新しいものに着いて行く。又いつの時代にも古い因習を破り、旧勢力を打倒しやうとするのも、旧勢力が頑固な世間から或いははたかしたるものには追放されたか、革命は國民的な犠牲をはたらき、成功しなかつた。再び革命を起す青年達が現れてきた。これは中國のみならず日本も歴史から見ても、大化改新、日本興業、明治維新、そして今民主主義が進行は、我々の我々の歴史を完成させ、再びはなれぬ大地に始つて、息を吐かぬ。……

征服者の徳作に書かれて居る、民衆的憤激、抵抗する、近代的な食を求め、飢饉に頭を悩ませる、或は、現在の赤い中国の内容が、或は、現在の赤い中国の内容が、或は、現在の赤い中国の内容が、……

梅雨明けととも、本格的な夏の到来、強烈な太陽の光を浴び、鈴の音に涼風の巻く、下町の風が、例年より伝染病の多い、お祭りが子供さんをおもて、お祭り、お祭り、お祭り、……

訂正の書かれた横田三郎とあるは、藤原正瑛著の誤りです深くお詫言申上ります

子供のために 久保田とし